

県産キクの品質保持技術

1 はじめに

お盆用キクの出荷時期である7月から8月は気温も高く、いかに切り花の品質を保持するかが大きな問題になっています。そこで福井県内でお盆出荷用として栽培されているキク 21 品種において、採花後に鮮度を保持し、観賞価値を延長するための技術を紹介します。

2 技術内容

1) 品質保持剤の活用

市販の品質保持剤への反応は品種ごとに異なりました(表)。採花後に葉が黄化しやすい品種(例:「小鈴」等)では葉の黄化を防止するチオ硫酸錯体(STS 剤)入りの品質保持剤が効果的でした(図1)。但し、STS 剤入りの品質保持剤の施用によって葉縁が枯れる品種がありますので(図2、表)、予備的な試験を必ず行ってください。

2) 冷蔵保管技術の活用

試験に用いた 21 品種のうち、5°Cで7日冷蔵した場合は8品種、14日間冷蔵した場合は2品種が25°Cの室温で7日以上日持ちしました。2°Cで7日間冷蔵した場合は13品種、14日間冷蔵した場合は8品種が25°Cの室温で7日以上日持ちしました。但し、冷蔵保管によって葉が黄化する品種(「さやか」等、図3)があるので、必ず予備的な試験を行ってください。



図1. 品質保持剤による黄化の抑制
水道水 STS なし STS 入り
品種名「小鈴」、採花から10日目



図2. 品質保持剤によって枯れた葉縁
STS なし STS 入り
品種名「はなふさ」



図3. 冷蔵による黄化
品種名「さやか」、14日冷蔵、出庫4日目

表. 品質保持剤の効果.

日持ちへの効果	品質保持剤名	品種名
3日以上延長	STS剤入り品質保持剤	織姫、ひまわり、小雨、小紫、星の砂、翁丸、小鈴、さやか、めぐみ、はくよう
	品質保持剤	めぐみ、はくよう、花絵
3日未満		とび丸、はなふさ、うたげ、シャロット、さきがけ、セタかざり、ふくろう、シューベガス、牛若、こずえ

赤字はSTS入り品質保持剤の施用により、葉縁枯れを引き起こす可能性がある。

3) 技術のコスト

○品質保持剤価格(1回で使い捨て、1本あたり20ml 処理の場合)

・STS 剤入り⇒1本あたり2円程度、STS 剤なし⇒1本あたり0.4円程度

(農試 園芸研究 C 花き研究 G)